



2026 年 7 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 CINC
代表者名 代表取締役社長 石松 友典
(コード番号：東証グロース 4378)
問合せ先 経理財務部長 森田 栄一
(TEL：03-6822-3601)

AI の誤情報・ハルシネーション対策を支援する Keywordmap、新機能 「AI 回答誤情報診断 (β 版)」をリリース

当社は、自社で開発・提供する SEO・AI 検索最適化 (GEO/LLMO) ツール「Keywordmap (キーワードマップ)」において、生成 AI が自社ブランドやサービスに関して誤った情報を回答していないかを一括でチェックできる新機能「AI 回答誤情報診断 (β 版)」の提供を開始したことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

AI の誤情報・ハルシネーション対策を支援する Keywordmap、新機能 「AI 回答誤情報診断（β 版）」をリリース ～主要 6 つの生成 AI の回答を一括診断し、AI 回答に潜む誤情報リスクを 可視化・迅速な対策を支援～

株式会社 CINC（本社：東京都港区、代表取締役社長：石松友典、以下 CINC）は、自社で開発・提供する SEO・AI 検索最適化（GEO/LLMO）ツール「Keywordmap（キーワードマップ）」において、生成 AI が自社ブランドやサービスに関して誤った情報を回答していないかを一括でチェックできる新機能「AI 回答誤情報診断（β 版）」をリリースいたしました。

近年、生成 AI が情報収集や比較検討の手段として急速に普及する一方で、AI が企業情報や製品情報について誤った回答を生成するケースも増えています。本機能は、こうした AI による誤情報やハルシネーションを迅速に発見し、対策につなげることで、企業のブランド毀損や機会損失などのビジネスリスクを最小限に抑えることを目的として開発されました。

The graphic features the Keywordmap logo at the top left, followed by the headline 'AIの誤情報・ハルシネーションを主要6つの生成AIで一括診断' (Diagnose misinformation and hallucinations from 6 major generative AI). Below this is 'AI回答誤情報診断 β版 をリリース' (Release AI Answer Error Diagnosis β version). At the bottom left, it says 'Powered by CINC'. On the right, a laptop displays the software interface, which includes a table of AI models and their error counts.

ChatGPT	Gemini	AI Mode	AI Overviews
正確	4	正確	4
不完全	1	不完全	1
不正確	2	不正確	2
出現なし	2	出現なし	2

AI 回答誤情報診断（β 版）とは？

「AI 回答誤情報診断（β 版）」は、自社や自社サービス・製品について、生成 AI が誤った情報やネガティブな情報を回答していないかを一括で確認できるリスク管理機能です。

チェックしたい企業や製品・サービスの正しい情報をツールに登録すると、ChatGPT、Gemini、AI Mode、AI Overviews、Perplexity、Copilot といった 6 つの主要生成 AI に対し、プロンプト（質問）を一斉送信し、それぞれの回答データを自動で収集します。取得した回答データは、単なる正誤の 2 択ではなく、「正確」「不完全」「不正確」「出現なし」「取得失敗」の 5 つのラベルで自動判定され、どの AI モデルがどの項目で誤情報を出しているのかを一覧で直感的に把握できるため、属人性を排除した高精

度な監視体制を構築できます。

開発背景：AI 検索の普及とともに「見えない誤情報リスク」が顕在化

ChatGPT や Gemini をはじめとする生成 AI の利用が急速に拡大し、多くのユーザーが検索エンジンに代わる情報収集手段として AI を活用するようになっていきます。

一方で、AI は Web 上に存在するさまざまな情報をもとに回答を生成するため、古い情報や不正確な情報、あるいは AI 特有のハルシネーションによって、企業やブランドについて誤った内容を回答してしまうケースも少なくありません。

例えば、

- 製品リニューアル後も旧モデルを推奨する
- 価格改定前の情報を回答する
- 廃止されたサービス内容を紹介する
- 実在しない機能や受賞歴を回答する
- 競合企業と混同した説明を行う

といった事象は、企業ブランドの信頼性低下や販売機会の損失、ユーザーの誤認、ブランドイメージの低下などにつながる可能性があります。



こうした背景から、AI がどのような情報を回答しているかを継続的に把握し、誤情報を早期に発見・対処したいというニーズが高まっています。

CINC ではこれまで AI 検索最適化 (GEO) コンサルティングの提供にあたり、社内ツールとして「AI 誤情報チェック機能」を開発・運用し、クライアント企業の AI 回答を継続的に調査・分析してきました。

今回、その実運用で培ったノウハウをもとに、より多くの企業が AI 回答リスクを自ら確認・管理できるよう、「AI 回答誤情報診断 (β 版)」として Keywordmap へ搭載しました。

新機能の説明



「どのAIが、どの情報で誤っているか」がひと目でわかる

- ☑ 主要6つのAIを同時比較
- ☑ AI回答を5種類で評価
- ☑ 判定理由まで確認

Q1. 「株式会社CINC」という事業者は存在しますか？正式名称を教えてください

期待値：株式会社CINC

✓ ChatGPT	正確	質問は「株式会社CINC」という事業者の存在と正式名称を教えてください。期待値は株式会社CINCです。補足情報は質問外なので
⚠ Gemini	不完全	質問は「株式会社CINC」という事業者の存在と正式名称を教えてください。期待値は株式会社CINCです。補足情報は質問外なので
✗ AI Mode	不正確	質問は「株式会社CINC」という事業者の存在と正式名称を教えてください。期待値は株式会社CINCです。補足情報は質問外なので

「AI 回答誤情報診断（β 版）」では、AI 回答の調査から分析までを一気通貫で実施できます。

1. 主要 6 つの生成 AI を横断して回答を一括取得

確認したい企業や製品・サービスの正しい情報を登録すると、

- ChatGPT
- Gemini
- AI Mode
- AI Overviews
- Perplexity
- Copilot

の 6 つの生成 AI へ質問（プロンプト）を一斉送信し、それぞれの回答を自動で収集します。

AI ごとの回答内容を比較しながら、「どの AI が」「どの項目で」誤った回答をしているかを一覧で把握できます。

2. 回答内容を「事実」と「文脈」の両面から診断

AI 回答を単純に「正しい・間違い」の二択で判定するのではなく、

- 正確
- 不完全
- 不正確
- 出現なし
- 取得失敗

の 5 種類のラベルで分類します。

例えば、「事実としては誤っていないものの説明が不足している」「必要な情報が欠落している」といった、人の目でも判断に迷いやすい回答の状態まで自動で可視化します。

これにより、どの情報を優先的に改善すべきかを把握しやすくなり、AI 検索最適化（GEO）の施策立案や効果検証を、データドリブンかつ再現性高く進めることが可能です。

3. 回答の根拠まで確認できる詳細データ

各 AI の回答について、

- 判定理由
- 回答全文
- 引用リンク

まで確認できます。

さらに CSV 形式でダウンロードできるため、社内共有や定点観測、改善前後の比較にも活用できます。

4. URL 入力による情報登録を自動化

企業サイトや製品ページの URL を入力すると、Web ページの内容を取得し、登録情報の入力を自動補助します。

情報登録の手間を削減し、よりスムーズに AI 回答の診断を開始できます。

5. 主要 6 つの生成 AI を横断し、ブランド認識を客観的に把握

ChatGPT、Gemini、AI Mode、AI Overviews、Perplexity、Copilot といった主要な生成 AI を横断的に調査できるため、特定の AI だけではなく、市場全体で自社ブランドがどのように認識されているかを客観的かつ網羅的に把握できます。

AI ごとの回答品質や認識の違いも比較できるため、改善施策の優先順位付けや継続的なモニタリングにも活用できます。

活用イメージ

マーケティング担当者

ブランドや製品について AI がどのように回答しているかを定期的に確認し、誤情報の早期発見やブランド毀損リスクの低減に活用できます。

SEO・AI 検索担当者

AI 検索最適化（GEO/LLMO）の施策実施前後で回答内容を比較し、改善効果を継続的にモニタリングできます。

広報・PR 担当者

新製品リリースや価格改定、企業情報変更後に AI 回答を確認し、古い情報が回答されていないかを迅速にチェックできます。

経営企画・DX 推進担当者

AI 時代における新たなブランドリスク管理の仕組みとして活用し、継続的な情報品質の維持に役立てることができます。

AI 回答誤情報診断を使うことで得られる価値

本機能を活用することで、企業は以下のベネフィットを得ることができます。

AI 回答がもたらすビジネスリスクの最小化

生成 AI が新たな情報接点として定着するなか、企業が把握しないまま誤情報や古い情報が AI から回答

されるケースが増えています。

本機能は、こうした「見えないリスク」を継続的に監視し、AI 回答に含まれる誤情報やハルシネーションをいち早く発見できる環境を提供します。

AI 検索時代におけるブランドリスクマネジメントの基盤として、企業の信頼性やブランド価値を堅持する"守り"の施策を支援します。

誤情報の拡散を未然に防ぎ、ブランド価値を守る

AI による誤った回答や、古い価格・製品情報・企業情報などを早期に把握し、適切な改善施策へつなげることで、ユーザーの誤認や問い合わせ対応の増加、ブランドイメージの毀損といったリスクを未然に防止できます。

問題が顕在化してから対応するのではなく、継続的なモニタリングによってリスクを先回りして管理できることが大きな特長です。

調査工数の圧倒的な削減と属人性の排除

これまで担当者が各 AI へ個別に質問し、回答を比較・整理していた作業を自動化します。

人力で行えば膨大な時間がかかるプロンプト調査を自動化し、瞬時に誤情報を把握できるため、大幅な工数削減を実現します。専門知識に依存しないため、属人性を排除した運用が可能です。

Keywordmap（キーワードマップ）について

膨大な数の検索結果、自社・競合・他あらゆる Web サイト、リスティング広告のデータをもとに、競合調査・キーワード選定・AI ライティング・効果計測など、SEO・コンテンツマーケティングを支援する機能を備えたツールです。2016 年のリリース後、業種・業界、事業規模を問わず、Web 集客を推進する幅広い企業様にご活用いただいています。

URL：<https://keywordmap.jp/>

<ご参考>

■ Keywordmap のサービス概要資料はこちら

https://keywordmap.cinc-j.co.jp/keywordmap-contact_pr

■ Keywordmap の無料トライアル利用のお申し込みはこちら

https://keywordmap.cinc-j.co.jp/keywordmap-trial-2_pr

■ Keywordmap の受賞歴



Keywordmap は法人向けの IT 製品・クラウドサービスのレビューと資料比較ができる国内最大級のプラットフォーム『ITreview』において、毎年発表される Best Software in Japan を 2 年連続受賞しております（2025 年度：58 位、2024 年度：41 位）。



また、SaaS 比較サイト『BOXIL』においても、Good Service を受賞し、あわせてお役立ち度、機能満足度の両部門で No.1 を獲得するなど、多くの方々から高い評価をいただいております。

■ 関連メディア「Keywordmap ACADEMY」

デジタルマーケティングの基礎知識・最新情報が学べるメディアです。

URL：<https://keywordmap.jp/academy/>

<ツール・サービスに関するお問い合わせ先>

株式会社 CINC Keywordmap 事務局

mail : km_cs@cinc-j.co.jp

■AIssearchmap (AI サーチマップ) について

AIssearchmap (AI サーチマップ) は、ChatGPT や Gemini 等の主要 AI の回答を自動収集し、自社や競合のサービス/ブランドへの「言及」、および「引用ドメイン」を比較・可視化する GEO/LLMO モニタリングツールです。API データではなく実際のユーザー環境に近い検索結果を蓄積できる高いデータ精度と、プロンプトの自動生成機能を備えており、専門知識がなくても、工数をかけずに AI 検索最適化のデータ収集・効果検証を一気通貫で自動化します。

URL : <https://aissearchmap.jp/>

無料利用のお申し込み : <https://aissearchmap.cinc-j.co.jp/aissearchmap-free-pr>

【会社概要】

「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC (シンク) (東証グロース 証券コード：4378)

代表者：代表取締役社長 石松友典

設立：2014 年 4 月

本社：東京都港区虎ノ門 1 丁目 21-19 東急虎ノ門ビル 6 階

事業内容：

- (1) ソリューション事業
- (2) アナリティクス事業
- (3) M&A 仲介事業 (株式会社 CINC Capital)

会社ホームページ : <https://www.cinc-j.co.jp>

採用情報 : <https://www.cinc-j.co.jp/recruit/>

運営メディア「Marketing Native」 : <https://marketingnative.jp/>

Tech Blog : <https://cincdevteam.hatenablog.com/>